



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 不二精機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6400 URL <https://www.fujiseiki.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）伊井 剛
問合せ先責任者 （役職名）取締役 管理本部長 （氏名）小田 将義 TEL 06-7166-6822
半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	4,413	△0.1	358	31.0	307	3.4	201	15.6
2025年12月期中間期	4,418	8.4	273	37.8	297	84.5	174	199.9

（注）包括利益 2026年12月期中間期 497百万円（－％） 2025年12月期中間期 △89百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	24.85	—
2025年12月期中間期	21.49	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	10,234	4,143	40.5
2025年12月期	9,797	3,703	37.8

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 4,143百万円 2025年12月期 3,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 8,657	% △2.0	百万円 630	% 27.5	百万円 542	% 23.4	百万円 367	% 26.6	円 銭 45.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期中間期	9,054,000株	2025年12月期	9,054,000株
--------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2026年12月期中間期	959,340株	2025年12月期	957,540株
--------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	8,095,431株	2025年12月期中間期	8,097,946株
--------------	------------	--------------	------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結損益計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、これまでの米国、中国の対立やロシアによるウクライナ侵攻に加え、米国とイランの軍事衝突の影響等により海外経済の不確実性が高まり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5 S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期に比較して、精密成形品その他事業で増加したものの、射出成形用精密金型及び成形システム事業で減少したことにより、前年同期比4百万円(0.1%)減少の44億13百万円となりました。

損益につきましては、給与や教育訓練費といった販売費及び一般管理費が増加したものの、精密成形品その他事業の売上総利益が増加したため、営業利益は、前年同期比84百万円(31.0%)増加の3億58百万円となりました。

経常利益は、前年同期に為替差益47百万円があったところ、当中間連結会計期間には為替差損26百万円へ転じた影響があったものの、前年同期比10百万円(3.4%)増加し、3億7百万円となりました。特別損益項目、法人税等を加え、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比27百万円(15.6%)増加の2億1百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。なお、以下の記載はセグメント間の内部売上高又は振替高を含んだ金額によっております。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

主力である医療機器用精密金型の売上高は前年同期に比べ減少し、当セグメントの売上高は、前年同期比2億25百万円(13.4%)減少の14億52百万円となりました。

また、厳しい受注環境に加え、売上高が減少したことにより、セグメント利益は、前年同期比43百万円(35.1%)減少の81百万円となりました。

なお、個別受注生産である当事業の未検収の受注残高は、前連結会計年度末から高水準で推移しております。

<精密成形品その他事業>

主力製品である自動車部品用成形品は東南アジア市場を中心に中期的な受注をいただいております、売上高はインドネシア、タイ及び日本国内の子会社で前年同期に比べ増加したことにより、当セグメントの売上高は、前年同期比2億1百万円(7.2%)増加の29億92百万円となりました。

セグメント利益は、原材料価格の高騰はありましたが、価格転嫁が進んだことや増収の影響により、前年同期比1億27百万円(85.0%)増加の2億76百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ4億37百万円(4.5%)増加し、102億34百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金が4億88百万円、仕掛品が1億3百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億56百万円(6.9%)増加し、55億28百万円となりました。

固定資産は、主に機械装置及び運搬具が1億39百万円増加し、リース資産が84百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ80百万円(1.7%)増加し、47億6百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円(0.1%)減少し、60億90百万円となりました。

流動負債は、主に短期借入金が2億46百万円、未払金が61百万円減少し、契約負債が2億58百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ53百万円(1.4%)減少し、36億71百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金が40百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ49百万円(2.1%)増加し、24億19百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が1億44百万円増加し、為替換算調整勘定が2億76百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億40百万円(11.9%)増加し、41億43百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント増加し、40.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2026年2月13日付で公表いたしました2026年12月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2026年8月7日)別途開示いたしました「通期連結業績予想の修正(上方修正)および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,871,042	2,359,204
受取手形及び売掛金	1,374,720	1,375,126
電子記録債権	240,575	70,493
製品	791,473	793,281
仕掛品	454,069	557,684
原材料及び貯蔵品	201,136	205,241
未収入金	86,602	21,663
その他	152,193	145,696
流動資産合計	5,171,814	5,528,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	868,212	871,166
機械装置及び運搬具（純額）	1,452,467	1,592,365
工具、器具及び備品（純額）	433,777	423,232
土地	735,158	735,158
リース資産（純額）	158,749	74,304
建設仮勘定	455,754	446,468
有形固定資産合計	4,104,119	4,142,696
無形固定資産		
のれん	15,504	13,566
その他	127,717	123,452
無形固定資産合計	143,221	137,018
投資その他の資産		
投資有価証券	191,714	216,954
長期貸付金	4,703	4,463
繰延税金資産	87,301	92,659
その他	105,149	122,911
貸倒引当金	△10,476	△10,303
投資その他の資産合計	378,392	426,684
固定資産合計	4,625,734	4,706,400
資産合計	9,797,548	10,234,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727,271	764,034
電子記録債務	144,502	150,793
短期借入金	1,624,098	1,377,922
リース債務	45,272	30,040
未払金	294,365	232,687
未払法人税等	24,803	43,072
契約負債	517,353	775,515
賞与引当金	127,882	79,482
製品保証引当金	63,830	62,011
その他	154,975	155,674
流動負債合計	3,724,356	3,671,234
固定負債		
長期借入金	2,049,069	2,089,279
リース債務	37,458	27,774
繰延税金負債	139,206	148,882
退職給付に係る負債	103,086	111,594
役員退職慰労引当金	3,403	3,403
資産除去債務	37,884	38,641
固定負債合計	2,370,108	2,419,575
負債合計	6,094,464	6,090,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	750,768	750,768
利益剰余金	1,526,060	1,670,574
自己株式	△233,280	△233,280
株主資本合計	2,543,548	2,688,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,635	58,274
為替換算調整勘定	1,119,141	1,395,807
退職給付に係る調整累計額	1,758	1,836
その他の包括利益累計額合計	1,159,535	1,455,918
純資産合計	3,703,084	4,143,980
負債純資産合計	9,797,548	10,234,790

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,418,529	4,413,766
売上原価	3,512,302	3,405,298
売上総利益	906,226	1,008,468
販売費及び一般管理費	※1 632,609	※1 650,050
営業利益	273,617	358,418
営業外収益		
受取利息	2,202	2,568
受取配当金	1,256	1,313
補助金収入	907	674
為替差益	47,395	—
受取家賃	—	3,300
受取保険料	—	1,259
その他	8,840	5,792
営業外収益合計	60,602	14,907
営業外費用		
支払利息	22,684	28,293
コミットメントライン手数料	2,843	500
為替差損	—	26,313
その他	11,542	10,969
営業外費用合計	37,070	66,076
経常利益	297,149	307,249
特別利益		
固定資産売却益	91	8,756
特別利益合計	91	8,756
特別損失		
固定資産売却損	637	10,339
固定資産除却損	5,797	5,932
減損損失	※2 34,373	※2 —
特別損失合計	40,808	16,271
税金等調整前中間純利益	256,432	299,734
法人税、住民税及び事業税	76,299	100,138
法人税等調整額	6,097	△1,592
法人税等合計	82,397	98,545
中間純利益	174,034	201,188
親会社株主に帰属する中間純利益	174,034	201,188

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	174,034	201,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,844	19,638
為替換算調整勘定	△246,510	276,665
退職給付に係る調整額	△24	78
その他の包括利益合計	△263,379	296,382
中間包括利益	△89,344	497,571
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△89,344	497,571

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
給料	178,526千円	181,747千円
退職給付費用	4,298	8,390
賞与引当金繰入額	18,514	17,470

※2 減損損失

前中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
三重県鈴鹿市	遊休資産	工具、器具及び備品	34,373千円

当社グループは原則として、事業部を基準として資産のグルーピングを行っております。また、遊休資産については個別物件ごとにグルーピングを行っております。対象資産は、当中間連結会計期間において将来の使用が見込めなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額34,373千円を減損損失として特別損失に計上しております。回収可能価額は正味売却価額により算定しており、処分見込額等合理的な見積りにより評価しております。

当中間連結会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,627,350	2,791,178	4,418,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,837	—	50,837
計	1,678,188	2,791,178	4,469,366
セグメント利益	124,777	149,428	274,206

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	274,206
セグメント間取引消去	△589
中間連結損益計算書の営業利益	273,617

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品 その他事業		
減損損失	—	34,373	—	34,373

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,420,886	2,992,880	4,413,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,025	—	32,025
計	1,452,911	2,992,880	4,445,792
セグメント利益	81,041	276,433	357,474

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	357,474
セグメント間取引消去	943
中間連結損益計算書の営業利益	358,418

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。